



シモジマ
代表取締役社長

笠井 義彦氏

お菓子がコンビニで発売され、高い関心を集めました。5月には「TIME」(アジア版)に、当社の紹介記事と

当社ではECの成長が著しく、今後とも増加していくと考えており、西日本地区に物流倉庫を建設する予定です。一昨年から稼働している東

大阪配送センターの立地などを加味し、いち早く土地を確保して着手できるよう進めていきます。今年も先行きは不透明な部分もありますが、来期は、現在の中期経営計画最終年度になります。目標として掲げている売上高650億円、営業利益率5・5

新型コロナウイルスの感染拡大以降、イベントや催事中止が相次ぎ、業界全体で需要が低迷する時期が続きました。しかし、経済が正常化傾向にある現在、当社の取り扱う商材がさまざまな場面で活用されていることを改めて実感しています。一昨年にコロナが5類感染症に移行した直後の特需からは一巡し、現在は落ち着きを見せています。が、催事やイベントはコロナ禍以降、より活発になった印象で、昨年行われた隅田川花火大会は来場者数が100万人を超え、当社で扱っている資材も堅調に推

上げや物価の上昇が報道されるなか、良い資材を1円でも安くに手に入れたという思いから、価格を見直すための相見積り件数が増えている

背景に、1980年頃にフアンシーショップや文具店で使用されていた当社の包装紙や袋に描かれていた「ストップペイ

した。また、一昨年に開始した「シモジマの森」の植樹活動の継続的実施や従業員が働きやすい環境を作るためエンゲージメントアンケートを実施しました。

た。26年以降の中期経営計画を立てる準備を始めています。今後の成長において、会社の礎である従業員だけでなく全てのステークホルダーが当社に対して「夢」を感じられるような計画をまとめています。また、自身が営業マンとして培ってきた「攻めの視点」を失うことなく、従業員が主体的に取り組める環境を整えたいと考えています。

夢と攻めの次期中計策定へ

環境配慮型商品開発とEC拡大を柱に

状況です。また、当社が早くから取り組んでいる環境配慮型商品は、問い合わせが増えており、今後もお客様がどのような商品をお求めなのかを丁寧に情報収集し、そのニーズに応えてまいります。事業トピックスとしては昨年3月、昨今のレトロブームを

インターネットが掲載され、海外にアピールする機会となりました。そのほか、新たな試みとして、環境に配慮した商品を作るだけでなく、小

地球のために3Rでゴミを減らそう!」と題した副教材を作成し、四つの小学校で出張授業を行いました。

今年も先行きは不透明な部分もありますが、来期は、現在の中期経営計画最終年度になります。目標として掲げている売上高650億円、営業利益率5・5

資産経常利益率)8・5%の達成を目指し、活動を続けていく所存です。併せて、26年以降の中期経営計画を立てる準備を始めています。今後の成長において、会社の礎である従業員だけでなく全てのステークホルダーが当社に対して「夢」を感じられるような計画をまとめています。また、自身が営業マンとして培ってきた「攻めの視点」を失うことなく、従業員が主体的に取り組める環境を整えたいと考えています。